

## 第3・4学年 学級活動（2） 学習指導案

令和4年9月13日（火） 第5校時

- 1 題材名 「友達がいやな気持ちにならないようにするためのカメラアプリの使い方を見直そう」  
学級活動（2） イ よりよい人間関係の形成

- 2 題材について

- （1）児童の実態

（略）

- （2）題材設定の理由

今日、iPadなどのICT機器は、「文房具の1つ」として活用することが求められている。一方で、ネットトラブルや健康への被害等、子どもたちがトラブルに巻き込まれている事例も多くあるように、ICT機器の使い方には注意する必要がある。しかし、児童たちが出ていく社会は、ICT機器を使うことが大前提であり、学校で「負のイメージ」をインプットするのではなく、ICT機器を手にしたときに自信をもって積極的に活用しようとする態度を指導することが必要である。

3年生は今年度に入り、初めて自分専用のタブレットが配当され、学校生活の中で使う機会が増えている。特に、「カメラ」内にあるフィルターをかける機能に興味を示し、友達と遊んでいる姿が見られる。しかし、悪気なく勝手に友達を撮影したり、顔を加工したりする様子があり、これは高学年においても見受けられる。ICT機器を手にし始めた時期であるからこそ、肖像権が絡むこの問題について理解し、友だちの気持ちを考えた使い方を考えていく必要があると考え、本題材を設定した。

### 3 第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気付き、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して、実践している。	自己生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力して合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

### 4 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
アンケートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラアプリの使用の有無や使用して困ったり嫌な気持ちになったりした経験などを調査し、表やグラフにまとめる。</li> <li>・これまでの生活を振り返る時間を設け、課題への意識を高められるようにする。</li> </ul>	◎カメラアプリに関する自己の生活を進んで振り返ろうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉

### 5 本時のねらい

自分本位で友達を撮影することが友達を傷つけたり、肖像権の問題に絡んだりすることを知り、どうしたらみんなが気持ちよくカメラアプリを使えるか、方法やルールを考え使用することができる。

6 本時の展開

段階	児童の活動	○指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
<p>導入 (10分)</p>	<p>1 タブレットで何ができるか話し合う。</p> <p>2 本時の課題を把握する。 (1) 事前のアンケート結果からカメラアプリの問題点を確認する。 ・ 撮られることが嫌いな人もいる ・ みんなが楽しく使えてない。 ・ みんなで楽しく使えるようにしたい。 (2) 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎みんなが気持ちよく使えるカメラアプリの方法を考えよう。</p> </div>	<p>○ タブレットに関する自己の生活を振り返ることで、本時のねらいに迫ることができるようにする。</p> <p>○ 事前のアンケート結果を提示し、カメラアプリの問題点を見いだすことで、解決してこうという意識を高めることができるようにする。</p> <p>○ 実際にタブレットの写真フォルダを見返し、自分事として捉えることができるようにする。</p>
<p>展開 (30分)</p>	<p>3 カメラアプリを使って撮っている人と撮られた人の気持ちを考える。 ○ 撮る人 ・ 顔がおもしろくなって楽しい ・ 色が変わっておもしろい ・ 後からでも見返せるからいい ○ 撮られる人 ・ 楽しい ・ おもしろい ・ 自分の顔が変わって嫌だな ・ 勝手にとられて嫌だな</p> <p>4 お互いが気持ちよくカメラアプリを使うにはどうすればよいか話し合う。 ・ 勝手にとらない ・ 「とってもいい？」と聞く。 ・ 「とろうよ！」とさそう。 ・ 「これ(フィルター)で、とってもいい？」 ・ 嫌な時はきちんと断る。</p> <p>5 撮影の許可の取り方を試す。</p> <p>6 写真に関わるトラブルについて知る。</p>	<p>○ 撮る人と撮られる人の気持ちを考えることで、撮る人の「楽しい気持ち」は、自分本位であることに気付けるようにする。</p> <p>○ 友達が嫌な気持ちにならないようにするにはどのようにすればよいか、自分の経験を想起したり、友達の工夫を聞いたりして、具体的な方法を考えられるようにする。</p> <p>○ 「嫌だ」と思うときにはどうすればよいかについても話し合い、自分の意思をはっきり伝えることの大切さについても理解することができるようにする。</p> <p>○ 考えた方法を実際に友達と試してみることで、「よりよい使い方」について、より深く考えられるようにする。</p> <p>○ 教師が肖像権やプライバシーの権利について説明することで、本人に許可を取ることの大切さについて気付くことができるようにする。</p>
<p>終末 (10分)</p>	<p>7 話し合ったことを参考にしてこれからの生活におけるカメラアプリの使い方について、学級のルール・自分のルールをまとめる。</p>	<p>○ 実践への見通しをもち、みんなが気持ちよくカメラアプリを使えるようにしようという意欲が高まるように言葉かけを行う。</p> <p>◎ みんなが気持ちよくカメラアプリを使うために、自分ができていることを考え、実践しようとしている。【思考・判断・表現】〈観察〉</p>

7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
<p>学級での立てた目標や取組について振り返る。</p> <p>友達同士で取組を確認し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事後に振り返る機会を設定し、実践化に向けて継続した取組になるよう助言する。</li> <li>・ 帰りの会などを利用して、友達同士で取組を確認し合う場を設け、お互いのがんばりを励まし合うことにより、実践の継続を図るようにする。</li> </ul>	<p>◎今後の生活におけるカメラアプリの使い方への見通しをもち、自己の課題を改善しようとしている。</p> <p>【主体的態度】 〈めあてカード〉</p>

8 板書計画


アンケート結果

◎みんなが気持ちよく使えるカメラアプリの方法を考えよう。

トラブルにならないためには？

とる人	とられる人
・	・
・	・
・	・

みんなが楽しい



〈肖像権〉

- ①勝手にとられない
- ②勝手にアップされない

3・4年生のさつえいルール

みんなが気持ちいい

## カメラアプリのアンケート



1 タブレットを使って、友だちをさつえいしたことはありますか？

ある          ない（ないと答えた人は4にすすむ）

2 タブレットで、友だちをさつえいするのは好きですか？

好き          きらい

3 その理由を教えてください。

4 タブレットで友だちにさつえいされるのは好きですか？

好き          きらい

5 その理由を教えてください。

ご協力ありがとうございました！！！！

「カメラアプリの使い方を見直そう」

名前 \_\_\_\_\_

1 学級で決めた目標

--

2 今日のじゅぎょうで分かったこと


3 自分の行動をふりかえろう。(よくできた◎ できた○ できなかった△)

月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

4 活動をして思ったこと、感じたことを書きましょう。

--

5 先生から

--

## 第5・6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時：令和4年12月2日（金） 第5校時

### 1 単元名 只見町の産業を応援しよう

### 2 身に付けさせたい資質・能力

- (1) 自分たちが住んでいる只見町の産業に関心を持ち、地域産業を学ぶことを通して、只見町と自分との関わりを見だし、今後の行動に生かすことができる。 【知識及び技能】
- (2) 只見町に住んでいる自分や只見町の産業に携わる人々の思いについて考え、自分の思いを確かなものにして、只見町の産業や将来について必要なことを表現することができる。 【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 地域の一員として、只見町の地域産業の発展のために自分たちが貢献できることは何かを具体的に考え、地域に働きかけることができる。 【学びに向かう力，人間性等】

### 3 単元について

#### (1) 児童の姿

(略)

#### (2) 単元のとらえ

本年度の総合的な学習の時間では、只見町の産業を知り、地域産業の発展のために自分たちがどのように関わっていくことができるのかを追究していくことで、只見町の未来を考えることをねらいとしている。

本単元では、前単元までに取材活動をして、産業に携わる人々の思いに迫る活動をしてきたことを基に、自分たちがどのように関わっていくことができるのかを考え、表現できるようにしていきたい。その上で、自分たちが発信する内容が、著作権や肖像権、プライバシーなどを配慮したふさわしい情報になっているか、調べてきた情報をしっかりと見つめ直すことで、情報を発信することの楽しさだけでなく、メディアリテラシーの重要性についても気付かせていきたい。

単元を通して、自分たちが調べ、学んできた只見町の産業、そして只見町の町民の一人として自分にできる町への貢献とは何か、小学5・6年生の「今の自分」の考えを大切にしながら、地域に積極的に関わっていくことができる力を単元全体を通して育ていけるようにした。

### (3) 教師のねがい

只見町の未来を担う子どもたちが、地域の産業や産業に携わる人々の工夫や努力について知ることを通して、只見で生きていくことについて考えていこうとする意識を高めたいと考えた。

本時では、前時までには自分たちがまとめた発表資料を振り返り、発信していく際に気を付けなければならない点について問いかけることで、まとめたものの修正を図っていく。その際、付箋紙を使って、修正点を可視化することにより、肖像権や著作権、プライバシーの保護に気を付ける背景には、相手への配慮があることに気付かせていきたい。

そして、取材活動でお世話になった方々や地元の方などを招き、自分たちの考えを発表することを通して、只見町に貢献するというESDの視点を付加した指導を行っていきたい。

## 4 指導計画と評価規準（総時間10時間 本時 5/10時間）

時数	主な学習内容	評価規準及び評価方法
1	・ 単元の学習計画を立てる。	<b>主</b> 見通しをもって、意欲的に問題解決しようとしている。
2	・ 発表する相手や目的、手段を考える。	<b>知</b> 発表する手段のよさなどを比較し、目的に合った発表の仕方を決めることができる。
3 4	・ 調べた内容を整理し、発表内容をまとめることができる。	<b>思</b> 学びを整理し、自分の思いや考えをまとめ、表現することができる。
5 本時	・ プレ発表会に向け、発表内容を修正する。	<b>思</b> 伝える内容の正当性や配慮すべきことに気付き、発表する内容を修正することができる。
6 7	・ プレ発表会を行う。	<b>主</b> 取材活動でお世話になった人々と関わることで、報告会に向けての意欲を高めることができる。
8	・ プレ発表会の反省を基に、発表する内容を整理する。	<b>知</b> 伝える内容の正当性や配慮すべきことに気付き、発表する内容を整理することができる。
9 10	・ 地域成果報告会で発表する。	<b>主</b> 町の産業発展のために、自分の思いをもって活動している。

## 5 目指す子ども像に迫るための手立てについて

高学年：自分たちにできることを考え提案し、行動に移すことができる子ども

〈根拠を基に表現する手立ての工夫〉

付箋紙を使って、発表資料の修正点を可視化し、比較・共有することにより、肖像権や著作権、プライバシーの保護に気を付ける背景には、相手への配慮があることに気付くことができるようにする。

## 6 本時について

### (1) 本時の目標

発表する内容を修正することを通して、伝える内容の正当性や配慮すべきことに気付くことができる。



(2) 指導過程

	学習活動・内容	時間	○指導上の留意点 ◆評価
つかむ	1 前時までの学習を振り返る。 2 めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">伝える内容に気を付けて、発表資料を修正しよう。</div>	5	○ 発表内容の正当性や配慮すべきこと（肖像権や著作権，プライバシーの保護など）を確認し，本時の課題を捉えることができるようにする。
さぐる	3 発表内容を修正する。 (1) 各グループで修正点を見つける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顔が映っているから，載せていいか聞いた方がいいかな。</li> <li>・ 商品の写真を勝手に載せてもいいのかな。</li> <li>・ この言葉って，そのまま載せて伝えてもいいのかな。</li> </ul>	20	○ 肖像権や著作権，プライバシー保護などについて，色分けした付箋紙を使って発表資料に貼らせていく。そうすることで，自分たちの修正箇所を明らかにすることができるようにする。
ふかめる	4 各グループの修正点を共有する。 (1) グループの修正点を発表する。 (2) 全体で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真について気を付けることがあるよ。(肖像権)</li> <li>・ 言葉についてふせんがついているよ。(著作権，プライバシーの保護)</li> </ul>	15	○ 付箋紙を使って，修正点を可視化し比較・共有し，肖像権や著作権，プライバシーの保護について問いかける。そうすることで，気を付ける背景には，「相手」への配慮があることに気付くことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">◆ 伝える内容の正当性や配慮すべきことに気付いているか。 (資料のまとめ，発表，記述)</div>
ひろげる	5 本時を振り返り，学習をまとめる。 (1) 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">㊦ 相手のことを考えて発表資料をまとめていくことが大切。</div> (2) 学習の振り返りを書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何を理解したか。</li> <li>・ 次時に向けて</li> </ul>	5	○ 本時に学んだことを振り返ることで，次時の学習を見通し，行動に移す意欲を高めることができるようにする。

7 板書計画

